

2019年度 聖ヤコブ幼稚園 学校評価結果公表シート

学校法人日本聖公会三重学園
聖ヤコブ幼稚園

1. 園の教育目標

本園は、学校教育法及び教育基本法の基づきながらキリスト教(日本聖公会)の根本の教えである「愛」の精神をもって、一人一人をかけがえのない存在として大切にし、成長してゆく幼児に人生の早期から宗教的情操を与えることによって心身の発達を援助し、健全な人格の形成、愛情豊かな子どもに育つよう教育したいと思っています。愛された子どもは、人を愛することができます。また、子ども自身が持っている創造性や興味を、遊びを通して引き出し、自己表現や人とのかかわりを体験的に学びながら、人間としての基本的なことを、身につけてゆくものです。そのため本園では、「遊び」というものを大切な「学習の場」と考えています。「程よい抵抗」を与えながら「遊び」を通して成長してほしいと願っています。

教育理念

「キリスト教の愛の精神をもって、一人一人を大切にし、愛情豊かな子に育てる教育につとめてゆく」ことを教育理念とした保育を行っています。

- ・ 神様の愛を知る子ども
- ・ のびのび遊ぶ子ども
- ・ 思いやりのある子ども

日々のお祈りや礼拝堂での礼拝、また、花の日やクリスマスなどの行事を通して神さまと人々に感謝し、すべての人のために祈ります。こうした宗教的環境は、目に見えないものに対する感性を豊かにします。そして聖書のお話を見聞きし、キリスト教の愛の精神に根ざした人と人のつながりの大切さを学んでいきます。つまり、何よりも「自分が愛されている存在」ということを体感し、「愛され大切にされている事実から、人を愛し大切にしていゆくことを学ぶ」ことを目指しています。

2. 本年度の重点目標

自園の教育方針・保育理念を今一度深く心に刻み、園児が園生活の各過程で学ぶべき大切なことを全教職員で計画的に考える。また、教師間の連携のみならず、保護者と連携しながら、今まで以上に園児の個性に応じた教育・保育を実践することのできるよう努める。また、教師としての質の向上、保育の計画、の充実に重点を置く。

3. 評価項目と取組内容

① 【教師としての質の向上】

【教師としての質の向上】

園の教育方針、保育理念について理解を深める。その上で、教師一人一人が子ども達一人一人の違いを尊重、把握した上で関わると共に、保護者と適切なコミュニケーションを行う為に自己研鑽する。また、その為の研修を園内で行うと共に園外の研修にも積極的に参加する。

② 【保育の計画】

前年度に改訂された幼稚園教育要領の中で、幼児教育における「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の実践が謳われている。

この実践の為、すべての教職員がそれぞれの立場で自園のことを振り返り、日々の実践へとつなげていく為のカリキュラム・マネジメントの工夫を行う。また、従来 of 行事などのあり方なども見直しつつ、日々の教育・保育を充実させていけるように保育計画を進めていく。

③ 【教師間の協力・連携】

園児が安心して自己を発揮し充足感を味わえるよう、教師は園児一人一人の性格などの理解に努め、状況にあった適切な指導や援助を行えるようにする。また、教師がこれまで以上にクラスのを越え、互いに協力し合い連携を密にすると共に、園内のコミュニケーションを十分にとり、共通理解していくための時間を生み出す工夫や努力をする。そして、教職員がそれぞれの立場や持ち味を認め合い、生かし合うことでより質の高い連携を目指す。

④ 【保護者との連携の充実】

園の教育目標である、「遊び」を大切な「学習の場」と考え、「遊び」を通して子ども達の創造性や探究心を引き出すと共に、友だちや教師との関わりの中での心の成長を大切にしていく。その為の研究に園全体で取り組み、教師一人一人も自己研鑽を重ねる。

4. 今後も引き続き取り組む課題

- ・教師としての質の向上
- ・保育計画の研究と充実
- ・教職員間の協力と連携
- ・「学習の場」や「学び」につながる「遊び」の研究

5. 学校評価の評価結果

学校関係者評価委員会・評価委員の方には、各学年の子ども達の様子や活動をご覧頂くと共に、取り組みの計画・実践内容等を報告や記録写真などで確認して頂いた。

結 果	評 価 委 員 の 意 見
A	<ul style="list-style-type: none">・教職員が園の方針を理解して、計画・実施をしていると思う。・研修会の参加、上級免許取得の機会を作り活かしている印象をうけた。・教師間の協力についても努力が認められる、今後もより一層の連携をめざしてください。・単なる「遊び」ではなく「学び・学習」につながるよう工夫や改善されていると思う。・子ども達一人一人を大事にした教育をされていると思います。・コロナ禍の中、日々大変な苦勞をされていると思う。この状況の中、園長先生を中心にいつも以上に職員間のコミュニケーションを大事に、今後も幼稚園教育に勤しんでいただきたい。

6. 財務状況

公認会計士監査より、適正に運営されていると認められている。